道徳のひろば ⑳

道徳的実践：清掃活動（勤労の心育成）

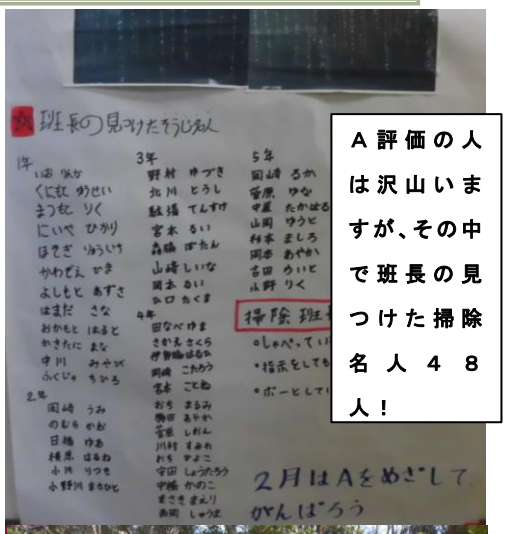
掃除は人をつくる：最高の教育と思います！

本校では、道徳的実践力をつけるための一つとして清掃活動に力を入れています。校内研修等で『掃除の仕方・反省会の持ち方・班長会での話し合い・評価方法』などについて話し合い、全校児童が真面目に隅々まで掃除ができることを意識して取り組んでいます。

例えば、私はグランド外回りの担当ですが、季節に応じていろいろな掃除や作業をします。この頃は、広い校庭に新しい土を入れて補修作業をしています。低・中学年がスコップでねこ車に土を入れ、中学年が運び、高学年がならしをしています。「スコップの使い方」「一輪車での運び方」「土ならし」など、大人は簡単にできますが子ども達にとっては初めての経験で難しい仕事です。しかし、その内に慣れて高学年になると、大人並みの仕事ができます。また、低学年のスコップでの作業は結構大変ですが、次第に要領をも覚えます。

先日、校庭作業は児童に任せて全校の掃除場所を久し振りに回って見ました。どこの掃除場所でも真面目に掃除をする子が多く「寒い中手を真っ赤にして雑巾しぼりをしている子」「水を流しながらトイレ掃除に夢中になっている子」「重い机を運ぶ低学年」など、一生懸命頑張っている姿があり本当に嬉しく思いました。

先日、班長（６年生）が掃除の仕方が特に優れていると評価した、４８人の掃除名人が廊下に掲示されました。このことからも子ども達の努力の姿が伝わってきました。



Ａ評価の人は沢山いますが、その中で班長の見つけた掃除名人４８人！

３年生

１年生：足を見て！

５・６年生

清掃活動は人づくりの基本かもしれません。実業家・発明家の松下幸之助さんは、でっち奉公（９歳）から玄関前の掃き掃除をしながら、いろいろな考え方を学んだと言う話もあります。

家庭でも子どもと一緒に掃除をする機会を増やしましょう。

冷たい：でもがんばる！

流し台：隅々まで！

重いよ：でもがんばる！

隅々まできれいに！

【三学期のキラリより】★林君：お掃除の時間、雪の降る寒い日でも流し台をピカピカに磨いてくれました。真っ赤な手になっていたけど「だいじょうぶ！！」といつもはりきってお掃除をしてくれています。

★越智さん、佐竹さん：毎朝、寒い日が続いています。今朝も美化委員の二人は、朝早くから落ち葉掃除をやってくれていましたね。ありがとう。

「学校キラリは、教職員が児童の道徳的価値のある活動や行動を見つけ、付箋紙に書き毎週金曜日、給食の時間帯に全校放送している取り組みです。子ども達は皆、楽しみにしている時間です。」